

佐陀神能〈さだしんのう〉

(ユネスコ無形文化遺産 松江市鹿島町)

出雲二ノ宮佐太(さだ)神社に伝わる神事舞。毎年9月24日に行われる御座替(ござがえ)神事で奉納される。能楽を神楽に取り入れた独自の様式を伝承している。出雲流神楽の源流といわれ、各地に伝わる里神楽に大きな影響を与えている。2011年ユネスコ無形文化遺産に登録された。



CONTENTS

- 2 _____ 会長 新年のご挨拶
- 3 _____ 中国経済産業局長「中国地域から日本を元気に」
- 4~5 _____ 島根県情報産業協会情報化月間行事 講演会・交流会開催
- 5 _____ 島根県知事 溝口善兵衛氏に報告書を提出
- 6 _____ しまねIT産業人材育成事業
- 6 _____ RubyWorld Conference 2011開催
- 6 _____ 第16回親睦ゴルフコンペ開催
- 7 _____ 講演会等活動報告(今後の予定と実績)
- 7 _____ 協会だより
- 8 _____ 会員社紹介(第12回)株式会社ワコムアイティ・株式会社GNS 島根R&Dセンター

新年のご挨拶

社団法人 島根県情報産業協会
会長 吉岡 宏



謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、昨年未曾有の大災害に対し、被災され方々に心からお見舞い申し上げます。

日本の政治の停滞

2012年は、4年に1度のオリンピックの年であり、選挙の年でもあります。台湾・ロシア・フランス・韓国そしてアメリカの大統領選があり、中国の次の国家主席が選ばれる年となります。一方、国内は小泉政権以降、毎年のように首相が変わっており、このグローバル社会の時代に展望が示せないままです。中長期的なビジョンの示せないまま、選挙のための人気取り政策を並べて、借金まみれの国になってしまっています。民主主義の限界に来たと言われるように、政治家を選ぶ側の責任もあります。昨年の島根県議選では、候補者がやっと定員に達する状態となり、投票さえ不要な選挙区が多く発生してしまいました。国の針路や地域の活力を決定する政治というものに無関心・無責任になってしまったのでしょうか。

成長の年

しかし、我々企業人は、政治のように停滞するわけにはいきません。企業は、時代の変化に迅速に対応できなければ滅びていく他ありません。未来学者と言われたアルビン・トフラーの「富の未来」には、変化のスピードについて書かれています。例えば、制度の変化が一番早いのが企業であり、以下順に社会团体、家族、官僚機構、教育、国際機関、政治と続き、際立って遅いのが法律だそうです。

2012年は、マヤ文明では人類滅亡の年とされているようです。確かに、世界的な経済危機や度重なる自然災害など懸念材料はたくさんあります。しかし、2012年は2011年の落ち込みの反動から全産業分野でプラス成長に転ずるという予測もあり、全産業で国内IT支出の増加が見込まれます。我々は停滞することなく、前向きに成長を目指していかなければなりません。

時流を捉え情報産業のさらなる発展へ

島根県情報産業協会およびしまねソフト産業ビジネス研究会は、情報産業の実績調査を毎年行っており、この3年間平均して売上110%、雇用者数105%の伸びを実現しています。2011年10月～12月に島根県・松江市・出雲市・浜田市・益田市に調査結果の報告を兼ねて、情報産業界への支援をお願いしました。特に島根県には、次の3点を強くお願いしたところです。

- ①マーケティングに着目した製品開発支援（売れる製品への支援）
- ②他産業とのコラボによる新製品開発などへの支援（農業分野・観光分野・製造業との連携支援）
- ③県民サービス向上に結びつくシステム調達の地場企業の参画推進（医療ネットワーク・教育ネットワーク・観光ネットワーク）

また、支援をいただきながら、我々自身も新たなビジネスチャンスを掴み、成長していかなければなりません。クラウドやスマホ・スレートPCを活用したサービスは、コンシューマー向けからビジネス向けへとシフトしていますし、Rubyに象徴されるオープンソースの活用により、コストダウンを実現するシステム構築が可能になっています。先を読む力を鍛え、顧客のニーズ・世の中の流れを掴むことにより、ビジネスは確実に広がっていくものと考えます。

みなさまと共に、元気で闊達な情報産業であり続けられるよう努めてまいりますので、本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

中国地域から日本を元気に

経済産業省

中国経済産業局長

井 辺 國 夫



昨年は、3月11日に発生した東日本大震災により、我が国にとって未曾有の困難に直面した一年でありました。現在もなお、避難生活を続けておられるなどたいへんな状況にある方々に、心からお見舞いを申し上げます。

経済面においても東日本大震災の影響は大きく、さらには長引く円高や、欧州の債務危機、タイにおける洪水被害などもあり、我が国を取り巻く経済情勢は大変厳しい状況にあります。

こうした中、中国経済産業局としましては、過度の円高による事業環境の悪化や、産業空洞化等への対応に加え、見直しが進められている「新成長戦略」の状況も見極めつつ、以下の4分野について、全力で取り組んで参ることとしております。

第1に「成長を支えるものづくり」であります。次世代のものづくり拠点の形成に向け、国内設備投資の支援とともに、先進環境対応車や太陽電池関連産業等のプロジェクトを展開します。

第2に「アジア・成長市場開拓」であります。急成長するアジア等の活力を呼び込むべく、海外市場販路の開拓に意欲的な中小企業の支援を進めて参ります。

第3に「低炭素社会形成」であります。省エネ推進とともに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度などにより、再生可能エネルギーの導入・利用拡大を支援して参ります。

第4に「地域の再生」であります。個性ある自立した地域づくりを加速化するため、農商工連携や商店街振興等を支援して参ります。

昨年は暗い話題が多かった中で、女子サッカー日本代表チームの活躍と、さらにその「なでしこジャパン」に対する、国民栄誉賞の授与の副賞として広島県熊野町の熊野筆が贈られたことは、非常に誇らしい話題でした。

また、昨年ユネスコの無形文化遺産に登録された、広島県北広島町の「壬生の花田植」や島根県松江市の「佐陀神能」、今年の大河ドラマ「平清盛」の舞台となる巖島神社、B1グランプリで注目された岡山県のB級ご当地グルメなど、中国地域に存在する、豊富で魅力的な地域資源を観光産業等に効果的に結びつけることで、中国地域から日本を元気づけるようなパワーを発信できる、と確信しております。

現下のような時にこそ、日本人の底力と団結力を発揮し、英知を結集することが重要です。我々中国経済産業局職員も一丸となって、諸課題の解決に取り組んで参ります。

最後に、本年の皆様の御多幸と御健康を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

講演会・交流会

開催 日時 平成23年11月18日金
15:00~19:00
場所 松江東急イン

平成23年度情報化月間行事として、しまね情報化講演会並びに交流会を、松江東急インで開催しました。当日は、島根県、(公財)しまね産業振興財団、(社)島根県情報産業協会、並びにしまねソフト産業ビジネス研究会 会員、一般参加者等、講演会80名、交流会21名の出席を得て、有益な会になりました。

① 講演会

15:00~17:10

① 開会挨拶 (15:00~15:10)

(社)島根県情報産業協会 会長 吉岡 宏

② 講演会 (15:10~17:10)

演題 クラウド&スマートフォン・タブレット端末時代のシステムインテグレーターとは

~女子バレー飛躍のツールiPadの開発秘話を今、語ろう!~

講師

加賀ソルネット株式会社 上村 倫一氏
株式会社パオックス 松田 周氏

② 交流会

17:20~19:00

① 講演会



開会挨拶
(社)島根県情報産業協会
吉岡会長

15時から開かれた講演会には、来賓、当協会会員、島根県関係者のほか市民など80名が参加。(社)島根県情報産業協会・今岡克己地域情報化委員長の司会進行で、主催者の吉岡宏会長の挨拶に続き、加賀ソルネット(株)上村倫一氏、(株)パオックス松田周氏のお二人から、「クラウド&スマートフォン・タブレット端末時代のシステムインテグレーターとは」というタイトルで、講演して頂きました。講師のお二人は、全日本バレーボールチーム使用のiPadの開発に2010年6月から携わられ、試合会場でリアルタイムに分析したデータを瞬時に監督が持つiPadに表示して、戦略などに役立つアプリケーションを構築されました。日本女子バレーの飛躍につながったとされる、この「全日本女子バレーボールチーム使用アプリVolley Pad」の開発の裏話を伺うことができ、参加者は熱心に聞き入っていました。

その他、iOSデバイスの市場動向や、多くのiPadの導入事例をご紹介いただき、30分を超える活発な質疑となり、会員各社にとっても大変有意義な講演会となりました。



講師・上村倫一氏 松田 周氏

2 交流会

講演会に引き続き開かれた交流会は、(社)島根県情報産業協会・総務企画委員会・中島一衛副委員長の司会進行で始まり、(社)島根県情報産業協会・石碕修二副会長の主催者挨拶につづき、島根県商工労働部産業振興課情報産業振興室・松本新吾室長に乾杯のご発声をいただきました。途中では、(公財)しまね産業振興財団事務局・伊原昌孝次長のご挨拶、(社)島根県情報産業協会・井上浩副会長の中締めで、閉会いたしました。



交流会風景



主催者挨拶
(社)島根県情報産業協会
石碕副会長



島根県商工労働部
産業振興課情報産業振興室
松本新吾室長



(公財)しまね産業振興財団事務局
伊原昌孝次長



(社)島根県情報産業協会
井上副会長

島根県知事 溝口善兵衛氏に 報告書を提出



平成23年10月3日、吉岡会長、石碕副会長、井上副会長、宮崎事務局長が島根県庁で、溝口善兵衛島根県知事に「平成23年度ソフト系IT業界の実態調査報告書」を提出し、情報産業のさらなる振興についてお願いしました。又、10月から12月にかけて松浦松江市長、長岡出雲市長、宇津浜田市長、福原益田市長、島根県IT産業育成等振興議員連盟、松江市議会経済委員会に、会長と地元IT企業で訪問し、同様の内容を報告しました。

平成23年度 ソフトIT 業界実態調査報告書概要

平素は情報産業の発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島根県では、平成19年度からソフト系IT産業の支援を強化して頂いており、県内情報産業の人材育成や、県外ビジネスの推進などで徐々に成果が出て来ていると認識しております。その効果の検証も兼ねて、ソフト系IT関連従事者数などの実態調査を実施いたしましたので、結果について報告申し上げます。

【平成22年度 主な実績】

- **売上額** **16,506百万円**
〈前年:13,543百万(121%伸長)、前々年:13,241百万〉
- **経常利益** **989百万円**
〈前年:281百万(351%伸長)、前々年:263百万〉
- **従事者数(県内分)** **1,086名**
〈前年:1,055名(102%伸長)、前々年:1,024名〉
- **Rubyエンジニア** **189名**
〈前年:138名(137%伸長)、前々年:79名〉

以上、平成22年度は、特に成果が顕著になったものとみております。

調査した全ての項目において増加傾向であり、この結果は島根県からのご支援があつてのこと、安定成長の為には、引き続き「IT産業振興策」の継続が必要と考えております。今後とも、情報産業が県内産業の柱の一つとなるよう、最大の努力を惜しまない所存ですので、ご支援のほど、よろしくごお願い申し上げます。

平成23年10月3日

社団法人 島根県情報産業協会
 会長 吉岡 宏

平成23年度

しまねIT産業人材育成事業



研修会

当協会では、島根県の「しまねIT産業育成支援事業補助金」交付を受け、平成23年6月からしまねIT産業人材育成事業をスタートいたしました。

この事業は、県内IT事業者の技術者のスキル・能力や、業界全体のレベル向上に役立つ人材育成講座を開催し、県内企業の競争力強化に繋げることを目的としています。12月末までに14講座を開催、28社117名が受講し、無事に修了しています。年度末まで残り3講座が開催される予定ですので、多数ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

RubyWorld Conference 2011開催

Rubyアソシエーション、島根県、松江市、当協会など官民10団体で構成された実行委員会が主催した、国際会議「RubyWorld Conference 2011」が9月5日、6日の両日、くにびきメッセで開催されました。一昨年から3回目の開催となった今回の国際会議では、様々なセッションを通じて、Rubyに関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、言語仕様の標準化の動向などが紹介されました。Rubyがより多くの領域に普及していくことを目指し、28名の講演者による発表があり、2日間の開催期間中の来場者数は、国内外から延べ929名となりました。クロージング・セレモニーでは、井上浩実行委員会副委員長から、来年のConferenceの開催意向が表明され、閉幕しました。



RubyWorld Conference 2011

第16回親睦ゴルフコンペ開催

当協会親睦ゴルフコンペが10月15日(土)、出雲空港カントリークラブにて16社18名参加のもと開催されました。当日心配された天候も、当コンペを歓迎するかのようにプレイ中は絶好のコンディションとなり、会員相互の親睦とお客様との交流を深め、にぎやかで楽しい一日となりました。

また、(株)エネルギー・コミュニケーションズ様、(株)テクノプロジェクト様、(株)オネスト様、(株)ネットワーク応用通信研究所様、(株)島根情報処理センター様より多数協賛品をご提供いただき、ドラコン賞、ニアピン賞をはじめ、多数の賞品を用意することができ、盛大に表彰式も行いうことができました。

成績は右記のとおりです。



堂々の優勝!!!
(なんと2連覇!)今岡様



順位発表に期待の中で和気あいあいとした
表彰式&懇親会



惜しくも
準優勝!
林様



第3位!!
藤原様

- | | | |
|-------------|---------|--------------------|
| 優勝 | 今岡 克己さん | (株)ワコムアイティ |
| 2位 | 林 恒人さん | |
| 3位 | 藤原 文幸さん | (株)アキュートシスコム |
| ベスト
グロス賞 | 本常 賢一さん | 日海通信工業(株) (スコア 85) |



表彰式プレゼンター
吉岡会長

行事予定

平成24年 (社)島根県情報産業協会新年会

■開催日時：平成24年2月6日(月) 15:00～ ■会場：松江東急イン

第一部 新年講演会 (15:00～17:20)

講演① 演題／「これからの松江のまちづくり」(仮)

講師／松江市長 松浦 正敬 氏

講演② 演題／「広域災害に備えるためのBCP(事業継続計画)対策」(仮)

講師／西日本電信電話(株) 法人営業本部 ソリューションビジネス部長 古堅 一成 氏

第二部 新年交流会 (17:30～19:00)

活動実績 (平成23年8月～平成23年12月)

●中国5県情報産業協会会長懇談会

平成23年
8月30日(火)
松江東急イン

- ▷主催 中国経済産業局
- ▷協力 島根県情報産業協会



●ちゅうごく地域Rubyビジネスフォーラム

平成23年
10月17日(月)
松江テルサ

- ▷主催 ちゅうごく地域Rubyビジネスフォーラム
- ▷協力 島根県情報産業協会



●RubyWorld Conference 2011

平成23年
9月5日(月)・6日(火)
くにびきメッセ

- ▷共催 島根県情報産業協会



●地域情報化セミナー

平成23年
10月18日(火)
くにびきメッセ

- ▷主催 中国情報通信懇談会
- ▷後援 島根県情報産業協会



●ビジネスマッチング商談会

平成23年
9月26日(月)
テクノアークしまね

- ▷主催 島根OSS研究所
- ▷協力 島根県情報産業協会



●第6回 中海圏地域産業技術展「中海ものづくりフェア2011」

平成23年
11月18日(金)・19日(土)
くにびきメッセ

- ▷主催 中海圏地域産業技術展実行委員会
- ▷協力 島根県情報産業協会



●島根県知事 溝口善兵衛氏に報告書を提出

平成23年
10月3日(月)
島根県庁



●平成23年度 島根県情報産業協会情報化月間行事 講演会

平成23年
11月18日(金)
松江東急イン

- ▷主催 島根県情報産業協会



協会だより

正会員入会

ティーエスケイ情報システム(株)
(平成24年1月)
住所：松江市学園南2丁目10番14号
タイムプラザビル3階
TEL：0852-27-6061
FAX：0852-27-6062
URL：http://www.tsks.co.jp
代表者：代表取締役社長 戸谷 弘明
担当者：取締役総務部長 安達 泉

会員変更

協会代表者変更
(株)日立製作所 中国支社 山陰支店 (平成23年8月届け出)
旧代表者 支店長 景山 雅文 氏
新代表者 情報システムグループ 部長代理 船越 雄一郎 氏
住所変更
特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい (平成23年9月届け出)
新住所 〒690-0888 島根県松江市北堀町35-14
連絡先電話番号等変更なし

株式会社ワコムアイティ

〒690-0816 松江市北陵町43番地
代表取締役 今岡 克己
TEL 0852-20-7200 FAX 0852-21-8729

〈ワコムアイティ東京オフィス開設〉

ワコムアイティでは、平成23年10月7日、東京都港区芝に東京オフィスを開設しました。現地採用を含めて、現在5人の開発スタッフが常駐しています。3年前より都内の医事データ処理の大手企業とのタイアップにより、医療機関における検査結果等の書類と、電子カルテの電子データを一括して管理できるシステム「Second File」の開発を進めており、現在、熊本県や愛知県の医療関連へ導入されています。



また電子マネーによる顧客サービスシステムや、不動産管理システムなど新たな案件にも取り組んでいます。これらの開発はいずれも、プログラミング言語Rubyが採用されており、その開発スピードと機能アップの簡便性などでユーザーからも高い評価を得ており、今後も首都圏での開発案件は増加すると予想しています。

住所：東京都港区芝2丁目5-19 ITO Bldg 2F
電話：03-6435-4950

株式会社GNS 島根R&Dセンター

〒690-0055 島根県松江市津田町301 今井松江ビル1F
代表取締役 坂本 潤
TEL 0852-60-0081 FAX 0852-60-0171

当社は、本社を東京都に構え、システムやインフラの企画、設計から構築、工事といった上流から下流まで、さらには構築したシステムの運用・保守、構築したシステムを利用してのASPサービス提供や、アウトソーシング業務の受託など、幅広い業務を手がけるIT企業です。

2010年3月に研究開発拠点として、松江市に設立した「島根R&Dセンター」では、主に画像解析・画像処理に関わる最先端分野の研究を進めております。

とくに独自の技術である動体除去技術は、静止物体のみを映し出し、通行人らのプライバシーが保護できる監視カメラの仕組みで、島根県浜田市の安心安全まちづくりの一貫である、防犯カメラ設置の際に弊社が技術提供を行い、地域の安全に役立てていただいております。

今後も、ICT（情報通信技術）を用いた地域貢献事業に力を入れ、地産地消の仕組みを作っていくことで島根県の産業振興に貢献していきたいと思っております。

